

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15128

外出支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	2	高齢者の生活の充実
取組方針	2	高齢者が心身ともに健康な生活を送ることができるまちづくり

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他	○		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	高齢者・地域福祉課	奥野 章
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	高齢者の外出支援及び生きがい支援。		70歳以上の高齢者にバス、市営駐車場、公衆浴場を割引料金で利用させることで、外出を促す。また、65歳以上の高齢者に市の施設及び協力民間施設を無料又は割引料金で利用できる優待利用券を配布することで外出を支援する。			
事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	70歳以上の高齢者に、バス又は市営駐車場及び公衆浴場の割引利用券を配布。事業者には交付金を交付。65歳以上の高齢者に市の施設及び協力民間施設を無料又は割引料金で利用できる優待券を配布。	70歳以上の高齢者に、バス又は市営駐車場及び公衆浴場の割引利用券を配布。事業者には交付金を交付。65歳以上の高齢者に市の施設及び協力民間施設を無料又は割引料金で利用できる優待券を配布。	70歳以上の高齢者に、バス又は市営駐車場及び公衆浴場の割引利用券を配布。事業者には交付金を交付。65歳以上の高齢者に市の施設及び協力民間施設を無料又は割引料金で利用できる優待券を配布。	70歳以上の高齢者に、バス又は市営駐車場及び公衆浴場の割引利用券を配布。事業者には交付金を交付。65歳以上の高齢者に市の施設及び協力民間施設を無料又は割引料金で利用できる優待券を配布。	70歳以上の高齢者に、バス又は市営駐車場及び公衆浴場の割引利用券を配布。事業者には交付金を交付。65歳以上の高齢者に市の施設及び協力民間施設を無料又は割引料金で利用できる優待券を配布。	70歳以上の高齢者に、バス又は市営駐車場及び公衆浴場の割引利用券を配布。事業者には交付金を交付。65歳以上の高齢者に市の施設及び協力民間施設を無料又は割引料金で利用できる優待券を配布。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	135,289	96,849	130,769	95,911	119,472	109,613	130,769	0	130,769	0
伸び率(%)	△23.2%	△43.8%	△3.3%	△1%	△8.6%	14.3%	9.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	10,510	11,307	13,032	12,489	14,585	12,116	11,369	0	11,369
	正規職員以外	1,279	3,393	3,520	3,082	2,758	2,720	946	0	946
	小計	11,789	14,700	16,552	15,571	17,343	14,836	12,315	0	12,315
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	16,361	16,333	6,190	6,243	6,149	6,265	6,149	0	6,149	0
一般財源(税等)	118,928	80,516	124,579	89,668	113,323	103,348	124,620	0	124,620	0
所要人数(人)	正規職員	1.32	1.42	1.68	1.61	1.95	1.62	1.52	0.00	1.52
	正規職員以外	0.66	1.46	1.44	1.21	1.26	1.24	0.49	0.00	0.49
主な予算内訳	バス利用交付金68,334千円 公衆浴場利用交付金44,055千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
バスカード及び駐車場利用券 保有者数	保有者数	人	目標値	39000	40000	42000	44000	44000
			実績値	37112	39806	45797		
			達成度(%)	95.2%	99.5%	0%	%	%
公衆浴場回数券 配布者数	配布者数	人	目標値	34000	34000	34000	34000	34000
			実績値	30567	17520	15925		
			達成度(%)	89.9%	51.5%	39.2%	%	%
バスカード及び駐車場利用券 利用回数	利用回数	回	目標値	750000	750000	750000	75000	75000
			実績値	478304	484317	546102		
			達成度(%)	63.8%	64.6%	%	%	%
公衆浴場回数券 利用回数	利用回数	回	目標値	270000	270000	270000	27000	27000
			実績値	180259	174892	165942		
			達成度(%)	66.8%	64.8%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	元気70バス事業について、配布率は微減しているが、配布者数と交付金実績はここ数年横ばいとなっており一定のニーズがあると思われる。ただし、地域によっては利用しにくいところもあり不公平感があることから格差解消のために見直しが必要。
見直し・改善内容	元気70バスについては、地域格差の偏りを少しでも是正するために路線バス以外の方法についても広く検討する。